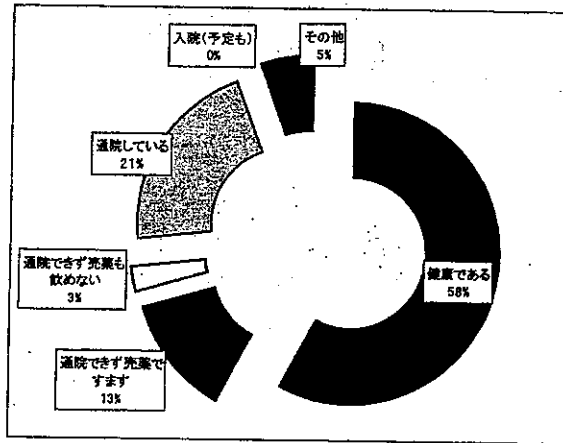


健康状態に関わって

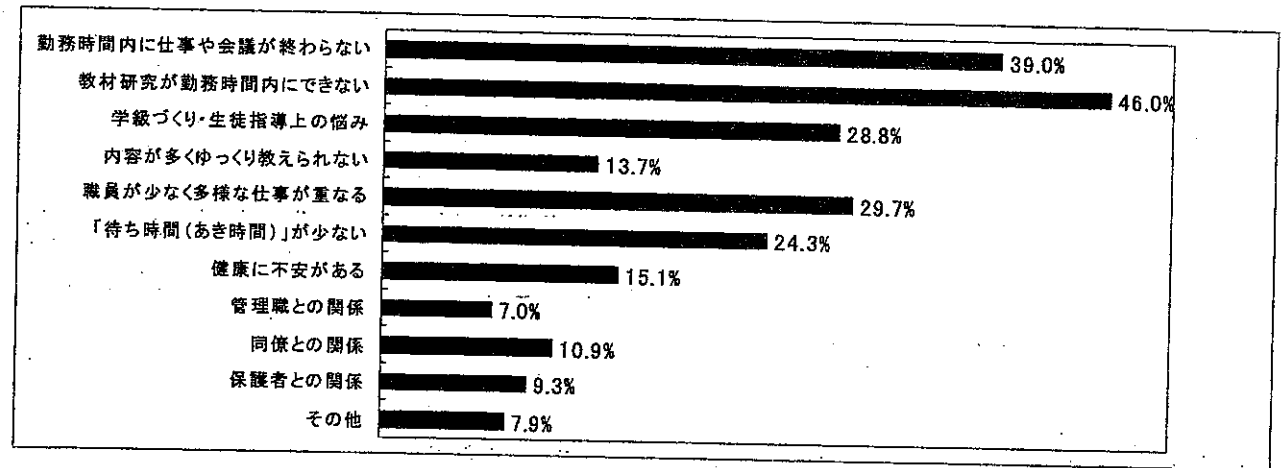
2006 勤務実態調査より (長野県)

中村 和幸

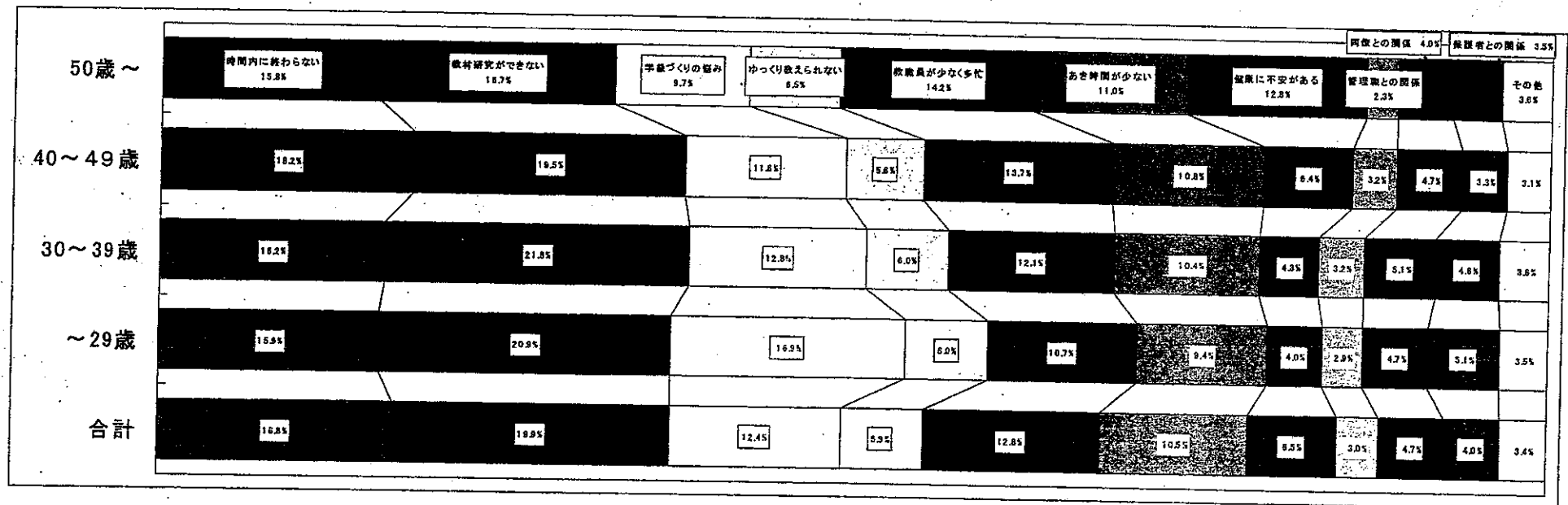
(1)、健康状態



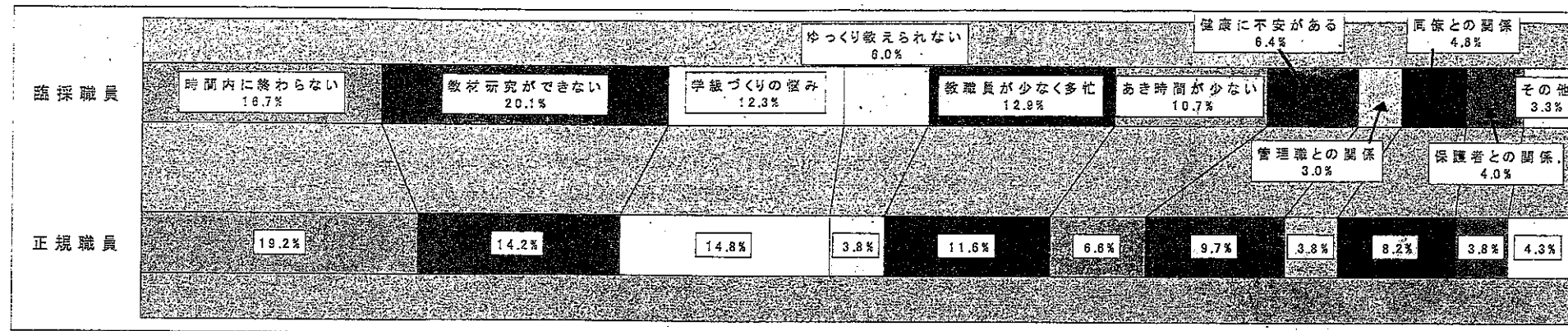
(2)、ストレスを感じていること



(3)、年代別のストレス



(4)、正規職員・臨探者のストレス



(5)、具体的な事柄

①通院はしていないけれど健康状態で気になること

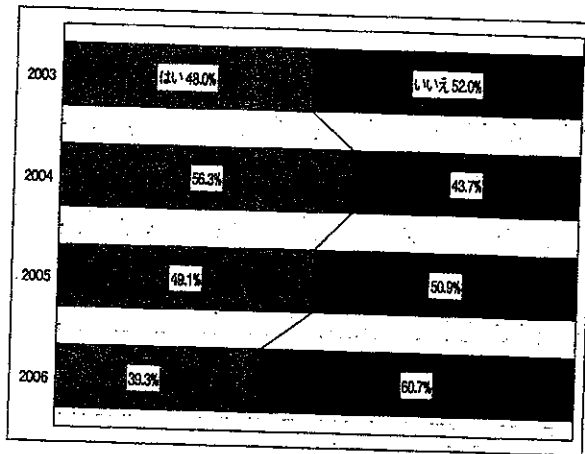
- 健康不安、疲れがとれない、常にだるい、気力が出ない、頭痛、耳鳴り、肩こり・腰痛・むくみ、血圧異常、生理不順、慢性胃炎
- 精神的ゆとりがない、ストレスギリギリ状態、イライラ、いつも不安、不眠傾向、慢性的に眠い、療休になりそう
- 人間ドック再検査、多忙で通院・再検査に行けない、職場の仲間に迷惑がかかるので休めない、休憩・休息時間がとれない
- 週1回の マッサージ、接骨院・整体で体調を整えている

② 調査項目以外で勤務上ストレスに感じていること

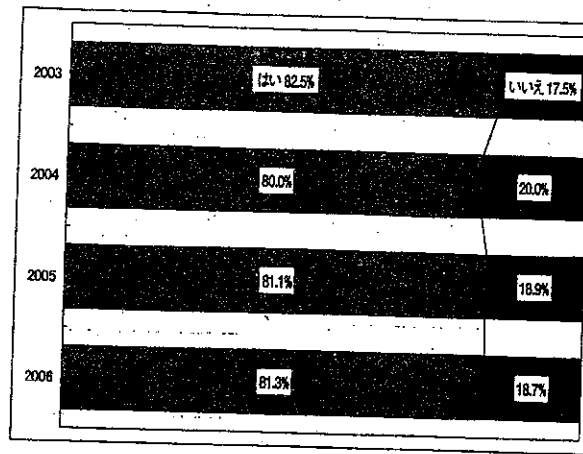
- * 子どもの理解、教育実践、生活・生徒指導、研究授業
- * 必要性のない研修・出張、評価制度
- * 学校運営、学校評価、行事、少ない教育予算
- * 多忙、超過勤務、休めない休日
- * 対外的な仕事、PTA、パソコン
- * 教職員配置、少数職種、採用
- * 学校集金の滞納、教育事務所・地教委との対応
- * 不公平な校務分掌、なれない部活指導
- * 保護者への対応
- * 人間関係
- * 職場環境、管理職
- * 家庭生活の犠牲

労働安全衛生体制等について

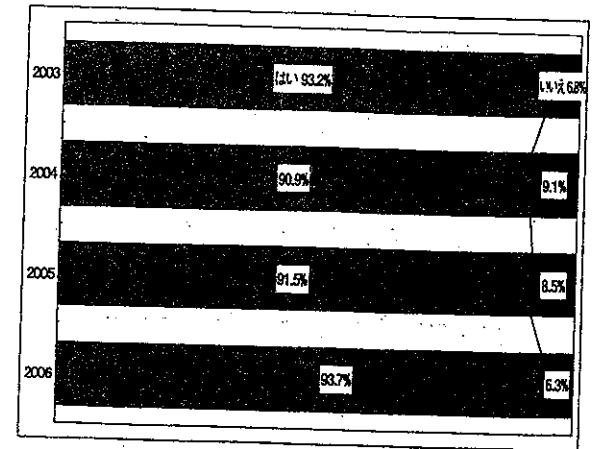
(1)、前年度中に衛生委員会は開かれましたか。



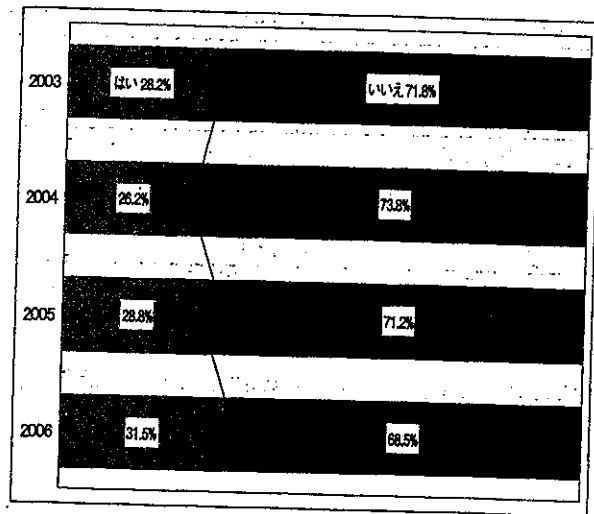
(2)、職員トイレは、職員専用・男女別になっていますか。



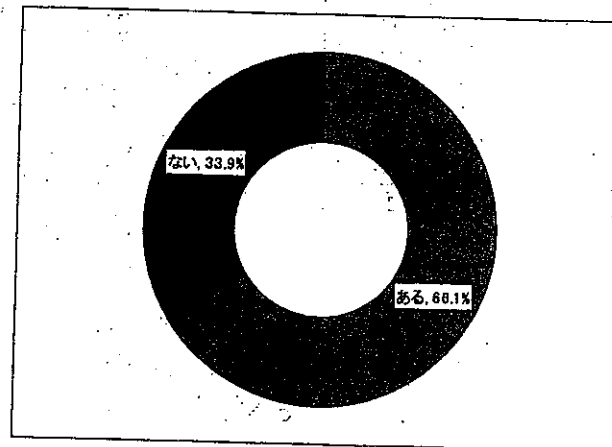
(3)、男女別更衣室がありますか。



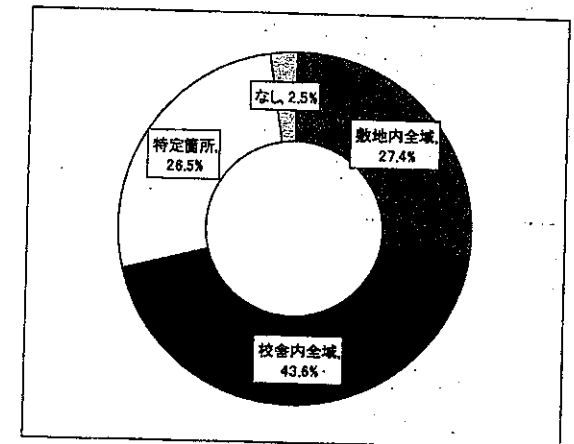
(4)、前年度中に療養休暇をとった職員はいますか。



(5)、校内に身体障害者用のトイレはありますか



(6)、校内で禁煙と指定している場所



勤務に関わって（6月26日～6月30日の一週間の調査）5日間

(1) 正規の勤務時間を超えて学校にいた時間

| | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 |
|-------|---------|---------|---------|
| 小学校平均 | 9 : 03 | 9 : 11 | 9 : 48 |
| 中学校平均 | 11 : 52 | 11 : 32 | 12 : 09 |
| 全体平均 | 9 : 44 | 9 : 30 | 10 : 15 |

(2) 1週間でいちばん遅くなった退勤時刻

| | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 |
|-------|---------|---------|---------|
| 小学校平均 | 19 : 58 | 20 : 02 | 19 : 56 |
| 中学校平均 | 20 : 27 | 20 : 29 | 20 : 23 |
| 全体平均 | 20 : 01 | 20 : 07 | 20 : 01 |

(3) 家に持ち帰ってした仕事の時間

| | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 小学校平均 | 4 : 47 | 4 : 24 | 4 : 21 |
| 中学校平均 | 4 : 07 | 3 : 48 | 3 : 55 |
| 全体平均 | 4 : 34 | 4 : 12 | 4 : 13 |

(4) 1日にとれた休憩時間

| | 2006年度 |
|-------|--------|
| 小学校平均 | 13分 |
| 中学校平均 | 13分 |
| 全体平均 | 13分 |

※1日にとれた休憩時間の平均時間が13分ということは、日々差し引き32分程の時間外勤務を行っている計算になります。

(1)-B 時間外に学校にいた理由と時間 (人)

| 時間 | 教科会・学年会 | 学級・学年 | 教材研究 | 生徒指導 | 部・課外活動 | PTA活動 | 給与・旅費 | 献立・給食 | 保健事務 | その他 |
|--------|---------|-------|------|------|--------|-------|-------|-------|------|-----|
| 30分位 | 259 | 135 | 158 | 201 | 120 | 161 | 134 | 103 | 99 | 109 |
| 1h位 | 530 | 296 | 359 | 197 | 84 | 162 | 56 | 20 | 19 | 78 |
| 2~4h | 637 | 664 | 540 | 202 | 166 | 213 | 69 | 21 | 50 | 139 |
| 4~7h | 168 | 474 | 330 | 51 | 139 | 53 | 45 | 14 | 34 | 72 |
| 7~10h | 56 | 239 | 172 | 28 | 87 | 14 | 19 | 11 | 15 | 44 |
| 10~13h | 24 | 106 | 77 | 8 | 43 | 7 | 8 | 2 | 13 | 11 |
| 13~16h | 9 | 45 | 35 | 4 | 21 | 1 | 2 | 3 | 3 | 14 |
| 16~19h | 11 | 37 | 26 | 4 | 14 | 1 | 4 | 0 | 5 | 10 |
| 19~22h | 2 | 10 | 11 | 0 | 4 | 0 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| 22h以上 | 12 | 38 | 22 | 5 | 9 | 1 | 2 | 1 | 0 | 3 |

(1)-A 正規の勤務時間を超えて
合計どのくらい学校にいたか
(%)

| | |
|---------|------|
| ゼロ | 0.8 |
| 2時間未満 | 6.1 |
| 2~4時間 | 10.4 |
| 4~7時間 | 16.7 |
| 7~10時間 | 19.0 |
| 10~13時間 | 15.3 |
| 13~16時間 | 13.3 |
| 16~19時間 | 6.7 |
| 19~22時間 | 5.8 |
| 22時間以上 | 6.0 |

平均10時間15分(昨年9:30)

(2)-A いちばん遅くなった
退勤時刻は何時か？

| | |
|---------|------|
| ~17:30 | 1.7 |
| ~18:00 | 4.2 |
| ~18:30 | 8.4 |
| ~19:00 | 11.5 |
| ~19:30 | 11.9 |
| ~20:00 | 12.4 |
| ~20:30 | 11.1 |
| ~21:00 | 12.7 |
| ~21:30 | 9.1 |
| 21:30以降 | 17.0 |

平均20:01(昨年20:07)

(3)-A 家に持ち帰って仕事
した時間の合計は？

| | |
|---------|------|
| ゼロ | 14.7 |
| 2時間未満 | 22.1 |
| 2~4時間 | 22.2 |
| 4~7時間 | 22.4 |
| 7~10時間 | 10.4 |
| 10~13時間 | 4.0 |
| 13~16時間 | 1.7 |
| 16~19時間 | 1.0 |
| 19~22時間 | 0.4 |
| 22時間以上 | 1.0 |

平均4時間13分(昨年4:12)

(5) 本年度になってから週休日や休日に勤務のあった日数はどのくらいですか

| | 2005年度 | 2006年度 (人、%) | |
|--------|--------|--------------|------|
| ゼロ | 16.6% | 443 | 15.2 |
| 1日 | 18.0 | 559 | 19.2 |
| 2～3日 | 32.7 | 933 | 32.0 |
| 4～6日 | 14.9 | 456 | 15.6 |
| 7～9日 | 5.4 | 158 | 5.4 |
| 10～12日 | 4.3 | 114 | 3.9 |
| 13～15日 | 3.2 | 106 | 3.6 |
| 16～18日 | 2.4 | 67 | 2.3 |
| 19～21日 | 0.8 | 46 | 1.6 |
| 22日以上 | 1.6 | 36 | 1.2 |

(1人平均4.1日)

(6) 休日に行った勤務の日数とその理由 (人)

| | 部・課外 | PTA活動 | 生徒指導 | 研究等 | 学校行事 | その他 |
|--------|------|-------|------|-----|------|-----|
| ゼロ | 216 | 325 | 278 | 247 | 339 | 270 |
| 1日 | 193 | 648 | 55 | 72 | 474 | 130 |
| 2～3日 | 251 | 316 | 39 | 71 | 236 | 116 |
| 4～6日 | 121 | 35 | 5 | 28 | 12 | 37 |
| 7～9日 | 65 | 5 | 4 | 12 | 6 | 15 |
| 10～12日 | 81 | 0 | 1 | 6 | 2 | 13 |
| 13～15日 | 84 | 3 | 1 | 2 | 1 | 6 |
| 16～18日 | 42 | 0 | 0 | 3 | 2 | 3 |
| 19～21日 | 20 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 22日以上 | 26 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| 人数計 | 1099 | 1332 | 383 | 444 | 1072 | 595 |

【考察】

- 正規の時間を超えて学校で勤務した時間は、昨年度に比べ週 45 分間増え、平均で10時間15分となりました。研究のための教科会や学級・学年の仕事、部・課外活動等、様々な業務により、毎日2時間を超える時間外勤務がされている結果となりました。また、一日にとれた休憩時間は平均13分で、休憩時間中にも30分を超える時間外勤務をしていることが明らかになりました。持ち帰り仕事と合わせると、毎日11時間程働いていることとなります。
- いちばん遅くなった退勤時刻は、平均で午後8時1分となりました。持ち帰り仕事は、今年度は昨年度とほぼ同様の週平均4時間13分でした。多忙化がすすむ中であって、もうこれ以上持ち帰り仕事を多くすることのできない、限界の状態に近づいていると考えられます。
- 4月からの3ヵ月での週休日や休日の勤務は1人平均で4.1日となり、85%の人が何らかの週休日・休日勤務をしています。主な内容としては、PTA活動や部・課外活動などがあげられます。さらに、3ヶ月間ほとんど休みが取れなかったと思われる22日以上休日勤務のあった人が36人以上もいたという実態も示されました。

◆ 1ヶ月の超勤時間試算は、どうなる？

- ①学校での時間外勤務 週平均10時間15分
- ②持ち帰り仕事 週平均 4時間13分
- ③実際に取れない休憩時間週平均 2時間40分
- ④週休日・休日の勤務 週平均 2時間45分

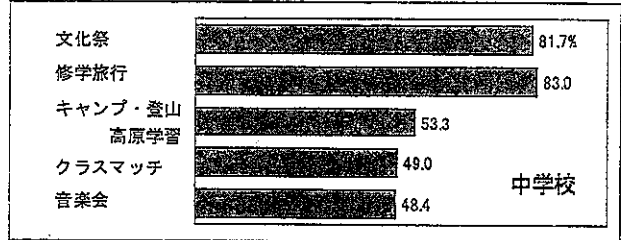
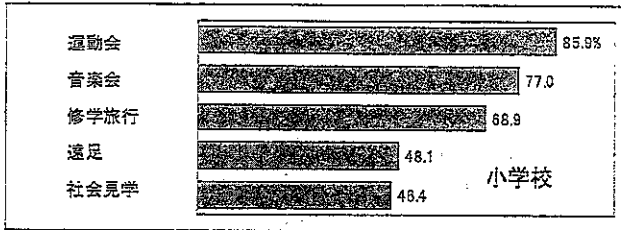
週の平均合計 週 19時間53分

◇ 1ヶ月あたりに換算すると、79時間32分もの超過勤務となります！

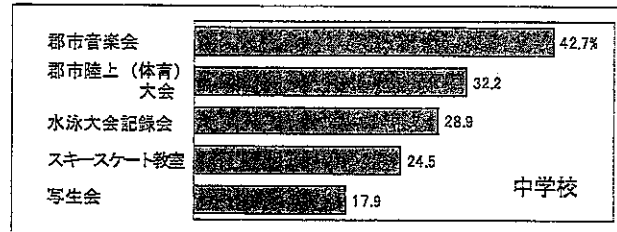
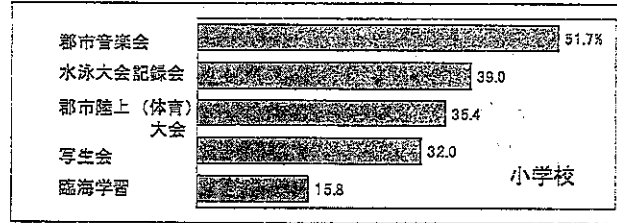
行事に関わって

(1)子どもにとって

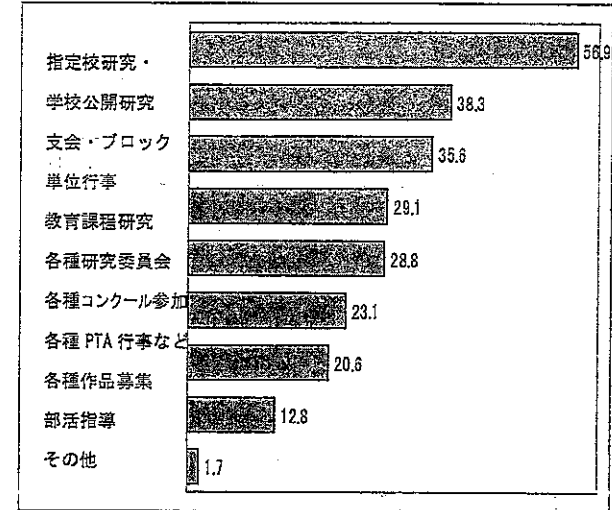
◎特に必要だと思われる行事は



◎不必要だと思われる行事は？



(2)教職員にとってゆとりをもたせるために、精選・縮小したいもの(3つまで)



[考察(1)]

- 子どもにとって特に必要だと思われる行事としては、
 - 小学校 … 1位～3位の運動会・音楽会・修学旅行が、50%を越えている。4位に遠足48.1%、5位に社会見学46.4% 6位以下には、キャンプ登山28.6%、交通安全教室26.6%、全校集会23.2%の順に回答が多かった。
 - 中学校 … 昨年調査と同様に1位修学旅行、2位文化祭、3位キャンプ登山高原学習であった。どれも50%を越えていた。4位クラスマッチ49%、5位音楽会48.4%、6位は全校集会28.8%となっている。
- 集団として活動しながら学びあい成就感を味わえるような行事に対して、教職員の位置付けが高い。
- 子どもたちが主体的に活動できる場面がつけられる行事や、地域に出て学べる行事も多く選択されている。
- 子どもたちにとって不必要だと思われる行事は、小・中学校ともすべての郡市ではないが実施されている合同音楽会や陸上(体育)大会、水泳大会記録会が依然として上位に入っている。学校五日制の下での教育課程を編成する際、行事にかかる時間や負担などを見直していくことが課題となっている。

[考察(2)]

- 多い三つは、昨年の調査と同様に指定校研究・学校公開研究、支会・ブロック単位行事、教育課程研究の順となった。「日常の足元を固める授業研究を!」「現実的に日常の授業に役に立つ研究を主体的にやりたい」などの現場からの願いを大切にしていかなければならない。押しつけではなく、子どもを中心にすえた職場論議の中から、研究の実施と内容が主体的に選択されることが必要である。
- 4位各種研究委員会、5位各種コンクール、6位各種PTA行事など、7位各種作品募集は例年精選・縮小したいものに入ってくるものである。行事精選の課題は、その行事が本当に子どもたちのためになるのかという視点と、教職員の多忙化解消の観点から十分検討することが大切である。
- その他として、外部から依頼される行事・会合・仕事、信濃教育会・郡市教育会関係の行事や委員会等に関わる仕事、不必要な調査・書類提出、校務分掌の精選、研究授業、など。

その他 困ったり問題とされていること(記述) 上小の教職員の主な声

教材研究の時間がとれない

- ・毎日毎日何かしら会議があり、ゆっくと教材研究ができない。教師の本分は教科指導。一番時間をかけねばならないところへかけられず、超過勤務となってしまう。
- ・とにかく毎日忙しいです。空き時間が少なく学校でなかなか教材研究ができない。子どもが小さくあまり遅くまで残れないので、7時ごろまでには帰り、夜中に起きて仕事をする。休日は休日ではない。(生徒がいない日でありその間に仕事をする日になっている。)
- ・週3時間しか空き時間がなく、理科専科とはいえ準備の時間が十分とれない。

子どもたちと向かい合う時間の確保を

- ・学校現場が忙しすぎて、ゆっくと子どもたちと向かい合う時間がとれない。その原因と打開策を早急に考えたい。
- ・授業数が多く、空き時間がほとんどないために学習カードを見ている時間もとれない。

時間外勤務が多い。意味のない仕事が多い。

- ・部活指導で、休日出勤や時間外勤務が多くて、ストレスを感じる。
- ・忙しすぎて休む時がない。(生徒指導、サポート関係の会、早朝あいさつ運動、パトロール、PTA活動など)
- ・やるが多すぎる。全く意味のない会合や研究があり余裕がない。
- ・仲間同士で多忙にしている面が非常に多いと思う。そういう観点で仕事を精選できればと思う。

軽度発達障害の子の対応におわれて

- ・自立教育コーディネーターになっているが、対象となる児童は多く、すべてにかかわろうとすればやりきれない。
- ・自立教育コーディネーターの資料づくり、校内の生徒のコーディネートで自分が担任している生徒の指導計画はできていないという矛盾。

教職員を増やして

- ・講師が多く、仕事が頼めない。わずかな人数で仕事を処理している。
- ・小規模校も1校ごとに必要な仕事は同じことが多いので、職員の増員をしてほしい。
- ・生徒指導の問題が発生した時に、関わって頂ける先生を多くしてほしい。
- ・自立学級に入らず普通学級にいる手のかかる子どもたちのためや外国籍児童のための教員加配がないと担任はともくろうです。

少人数学級を

- ・全学年30人以下学級を実現してほしい。
- ・少人数学級を中学校へも延長してほしい。

健康面

- ・具合が悪くてもなかなか休みがとれない。
- ・調子が悪いことがあるが、様子を見るだけにとどめている。
- ・接骨院、整体などで体調を整えている。
- ・いつも疲れている感じで、どこが具合が悪いわけではないが、健康とはいえない。
- ・毎日の疲れが回復せず(身体、精神面とも)休日には何かをする気力がわかず、虚しさが残る。
- ・健康面の不安から仕事が進まずたまってしまう。
- ・持病があるが、ゆっくと通院したり薬をもらいに行ったりできにくい。

施設・設備面

- ・階段に手すりがほしい。けがをした生徒が困っていた。
- ・必要な学習環境が整えられない。市としての教育費が十分でないため教員はもちろん生徒も不利益を感じている。